

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】令和7年6月19日(2025.6.19)

【公開番号】特開2025-71342(P2025-71342A)
 【公開日】令和7年5月2日(2025.5.2)
 【年通号数】公開公報(特許)2025-080
 【出願番号】特願2025-29637(P2025-29637)
 【国際特許分類】

B 4 1 F 5/24(2006.01)

10

B 4 1 F 5/06(2006.01)

B 4 1 F 5/16(2006.01)

【F I】

B 4 1 F 5/24

B 4 1 F 5/06

B 4 1 F 5/16

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月11日(2025.6.11)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

各第2の印刷ユニットは、前記回転軸アセンブリを回転自在に支持する軸受アセンブリを有すると共に、前記アニロックスロールの昇降動作に伴って動く可動支持アセンブリを備えており、

前記可動支持アセンブリは少なくとも1つの第2のオイルシールを備えており、前記少なくとも1つの第2のオイルシールは、前記軸受アセンブリの前記アニロックスロール側にて前記回転軸アセンブリの周囲に配置されてよい。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

段ボールシート用印刷機であって、

印版を有する印刷シリンダと、

40

前記印版にインキを転移するアニロックスロールと、

前記アニロックスロールに転移されるインキが溜められるインキ溜め機構と、

インキを貯蔵するインキタンクと、

前記インキ溜め機構と前記インキタンクとの間でインキを循環させるインキ供給回収機構と、

を備えており、

前記インキ溜め機構は、前記アニロックスロール側を開いており、インキが溜められる内部空間を有しており、前記アニロックスロールと当接するチャンパフレームを備えており、

前記インキ供給回収機構は、前記内部空間の第1の端付近からインキを吸引して前記イ

50

ンキタンクに送る第 1 のインキ回収経路と、前記内部空間の第 2 の端付近からインキを吸引して前記インキタンクに送る第 2 のインキ回収経路と、前記第 1 の端と前記第 2 の端の間にて前記内部空間に前記インキタンクからインキを供給するインキ供給経路とを備えており、前記第 1 の端と前記第 2 の端とは、前記段ボールシート用印刷機の機械幅方向に離れており、

前記第 1 のインキ回収経路は第 1 のポンプを備えており、

前記第 2 のインキ回収経路は第 2 のポンプを備えており、

前記第 1 のポンプ及び前記第 2 のポンプは前記内部空間からインキを吸い出すように交互に駆動される、段ボールシート用印刷機。

【請求項 2】

10

前記内部空間の第 1 の端付近には、前記内部空間に溜められたインキの液面の高さを検知する第 1 の液面センサが設けられており、

前記内部空間の第 2 の端付近には、前記内部空間に溜められたインキの液面の高さを検知する第 2 の液面センサが設けられており、

前記第 1 の液面センサと前記第 2 の液面センサの何れか一方が、前記内部空間に溜められたインキの液面が所定の高さ未満になったことを検知すると、前記第 1 のポンプと前記第 2 のポンプのうちの駆動中のポンプが停止し、その後、前記第 1 の液面センサと前記第 2 の液面センサとが共に、前記内部空間に溜められたインキの液面が前記所定の高さに達したことを検知すると、前記第 1 のポンプと前記第 2 のポンプとは、前記第 1 の液面センサと前記第 2 の液面センサの何れか一方が、前記内部空間に溜められたインキの液面が前記所定の高さ未満になったことに起因して停止したポンプではない方のポンプから交互に駆動される、請求項 1 に記載の段ボールシート用印刷機。

20

30

40

50